



ESC
TOKYO

BEHIND THE SCENE : JAPANESE CRAFTSMANSHIP STORY

- Komada Shokufu
- Furuhashi Weaving
- Okuda Print
- Aotani Seisakujo
- Sewing workshop



ESC
TOKYO

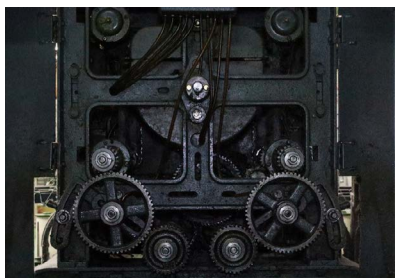
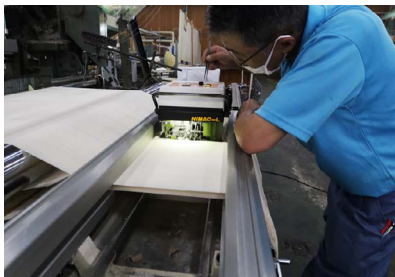
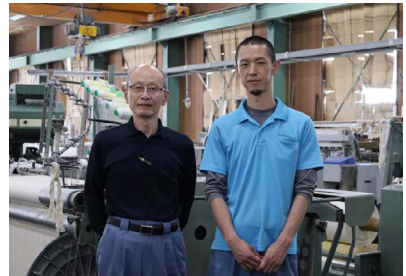
BEHIND THE SCENE : JAPANESE CRAFTSMANSHIP STORY

駒田織布

高島帆布メーカー（滋賀県）

美しい山岳、安曇川の清流、そして日本最大の淡水湖である琵琶湖を有する自然豊かな滋賀県高島市。冬にはあたり一面が銀世界となる豪雪地帯で、江戸時代末期から農家の閑農期の副業として綿織物が栄えました。年間を通して湿潤な気候は撚糸から織布にいたるまでのプロセスで綿糸の繊維をしなやかで丈夫にし、より精巧で高密度な織り技術を可能にします。その歴史は古く、江戸時代には琵琶湖を往来する船の帆に用いられ、やがて軍用品から衣料、生活雑貨にも欠かせない汎用性の高い生地として需要が増します。その間、主要な卸先であった京都や大阪の高度な伝統工芸と近代的な産業が高島市の卓越した職人技を育み、最高品質を誇るテキスタイルの「高島帆布」として名を馳せるようになります。近年は産業用資材を含む多種多様なテキスタイルが開発され、国内有数の優れた織物産地となりました。

その高島帆布の品質を受け継ぐ老舗テキスタイルメーカー、駒田織布は1930年代に撚糸業からスタートし、一切妥協のない卓越したクラフトマンシップと織機によって最高品質のテキスタイルを提供しています。今回、100%オーガニックの糸から企画されたESC別注の上質なキャンバス生地は駒田織布の伝統的なクラフトマンシップのみならず、ESCが目指すテキスタイルのエシカルな価値を実現すべく新世代による惜しみない情熱と英知によっても生み出されています。





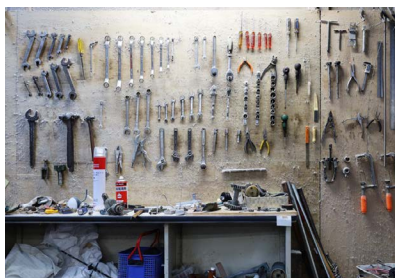
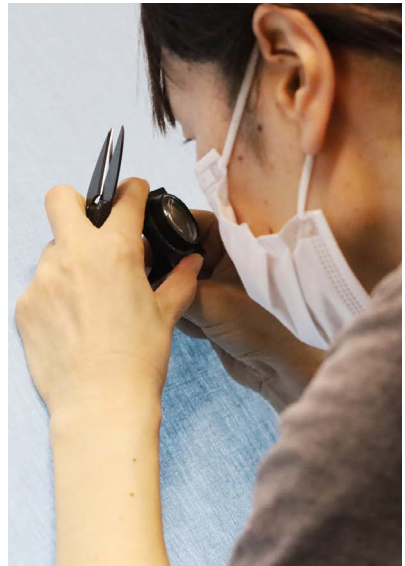
ESC
TOKYO

BEHIND THE SCENE : JAPANESE CRAFTSMANSHIP STORY

古橋織布 遠州織物メーカー（静岡県）

温暖な気候と豊富な水源に恵まれた静岡県西部の遠州地区では江戸時代中期より農家の副業として綿栽培が盛え、やがて「遠州木綿」として名声を馳せます。明治以降になるとトヨタ織機などの飛躍的な織布の技術革新や十大紡績工場がこの地に集結したことによって優れた織布メーカーが台頭し、日本有数の綿織物産地へと発展しました。現在では先人の高度な匠の技を受け継ぐ、個性が際立つインディペンデントのテキスタイルメーカーが新たな世代の創意工夫で発展しながら時代に呼応する多彩な遠州織物を生み出し、世界的なファッション業界からも高い評価と信頼を得ています。

ESCのタイプライター・テキスタイルは1928年に創業し次世代の叡知によって遠州織物の新たな価値を創造し続ける老舗織物メーカー、古橋織布によるカスタムオーダー（高密度の平織り/100%オーガニック綿糸/無漂白）。豊富な経験と匠の技が必要となる世界的にも希少価値の高い旧式のシャトル織機をつかい、糸にできるだけ負担をかけずに丹念に職人が織り上げることで綿素材本来の特性を引き出した上質な風合いが生まれます。また、開口装置を大きく広げることによって限界まで高密度に織り上げる事も可能とし、綿の毛羽立ちがやさしい極めて上質な肌触りのテキスタイルを提供しています。



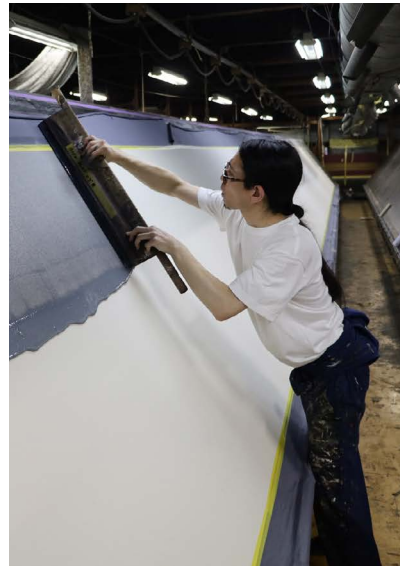


ESC
TOKYO

BEHIND THE SCENE : JAPANESE CRAFTSMANSHIP STORY

奥田染工場 老舗染め工房（東京都）

平安時代（12世紀）から生糸と織物の産地として史記に登場し、江戸時代（17世紀）には桐生・西陣と並ぶ織物の都として栄えた東京・八王子市。「桑の都」とも呼ばれ、古くから養蚕と織物が盛んでした。明治時代（19世紀）になると織物産業のさらなる発展させるための行政施策によって日本各地の卓越した染色技術を八王子に継承させ、優れた染色工房と職人が台頭して江戸小紋などの高度な染工芸を誇るようになります。大正時代には電気駆動の力織機が普及し、洋装が日常生活に浸透することで織物と染色の産業は飛躍的に発展します。一時は第二次世界大戦の「八王子空襲」などで苦しい時代を迎えたものの、「多摩織」と呼ばれる高品質な織布が日本政府による伝統工芸品の認定を受けるなど、日本有数の高品質な織物の産地として確立しています。奥田染工場は多種多様で高度な染色技術を継承しつつ、東京ならではの革新性と芸術性によってファブリックに新たなアート価値を加えます。ESCとのコラボレーションでは染色とテキスタイル双方の天然素材本来の美しさとエシカルな価値を引き立てる事に共鳴し、熟練の技に新世代の斬新な発想と情熱を織り込んでコンテンポラリーなファブリックを生み出しました。



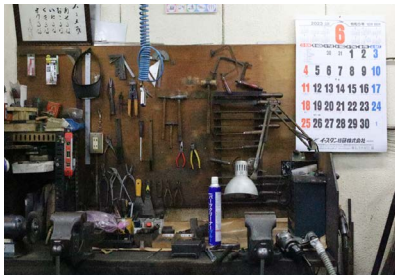


ESC
TOKYO

BEHIND THE SCENE : JAPANESE CRAFTSMANSHIP STORY

青谷製作所 (東京)

日本の伝統的な宝飾品、建築、神社仏閣、武具などの金物や貴重石の装飾品づくりを担った「筋(かざり)」職人は江戸時代をピークに伝統工芸の卓越した品質と芸術性を育み、東京では東部の下町でその匠の技が継承されてきました。ESCの製品を生み出す多様なクラフトマンシップを象徴するエンブレムは優れた鋳物工芸の技術を受け継ぐ1952年創業の鋳造工房、青谷製作所によるもの。大量生産優先の製造では到達できない品質を生み出す秘訣は、熟練の職人技だけが操れる旧式のフリクションプレス。金属がプレスされる際の感触と音の響きや室内の湿度と気温など、あらゆる機微を五感で感じ取りながら確固たる経験と実績に基づいて絶妙なさじ加減で加工します。一つ一つの真鍮製バッジは金型制作、プレス加工、型抜き加工、ホーニング加工、仕上げ加工、メッキ加工といった職人の手作業によって生み出され、デジタル技術やAIコンピューターでは成し得ない、温もりのある最高品質の徽章を生み出します。





ESC
TOKYO

BEHIND THE SCENE : JAPANESE CRAFTSMANSHIP STORY

縫製工房 (縫製)

ESCのすべてのプロダクトは高度な縫製技術と倫理基準を有する日本の縫製工房で丹念につくられています。私たちのプロダクション・パートナーは世界的な名声を博する革新的かつ高品質な日本ブランドの製造を担う優れたクラフトマンシップのみならず、縫製スタッフや地域社会を最大限に敬い、具体性のあるエシカルなアクションを行政と取り組んでいます。





ESC
TOKYO



Their dut

Outer

Out
(Mineral pic

Metal en

ATTENTION

MINERAL PIGMENT DYEING CLT

This iron powder dyeing is done by hand by dyeing artisans, so there is some unevenness in the colour. Due to the nature of the dye, changes in texture and colour fading due to friction will occur over time. The natural changes in colour and texture are to be enjoyed, similar to indigo-dyed denim garments. To keep the original colour and texture as long as possible and prevent the pigment from peeling off, please dry-clean the fabric inside out with a weak petroleum-based dry-cleaner and avoid tumbler-drying (hang-drying is recommended). Wear and store in dry conditions as prolonged exposure to moisture and high temperatures may cause discoloration, colour migration and odours.

ESC

www.esc-tokyo.com

workshop in downtown Tokyo, a historic production area for insignia emblems.

Parts Brass and aluminium are used for longevity and recyclability. All metal parts and palm nut buttons used in this garment are made and finished in Japan.

Creation This garment was fabricated carefully by _____ in Gifu, Japan.

Product info Colour: Iron grey Size: 1 2 3

Product code: ESC-CL23-TDJ-IG

The main materials of this garment do not contain any plastics or material of animal origin.

ESC

www.esc-tokyo.com

WEAVE NOTE

hima
anic cotton
heat
ble

ral
that is
with
nique iron
nd by
o, utilises

s the
garment.
to be
ts.

ced by
hed in
otton
a from
von on an
d to
f cotton.

hant by
panese
nts. The
ship in a



ESC
TOKYO